

福西レンジャーの巻 琵琶湖河川レンジャー レポート

瀬田川を愛する人が安全・安楽に共存できる川づくり

河川レンジャー
活動支援室
2022年3月発行
VOL. 46



河川沿いの道路からのゴミのポイ捨て、瀬田川立木観音付近

みなさん、はじめまして。昨年11月より河川レンジャー活動を始めた福西健太です。私は、瀬田川で散歩や運動・釣りなどで利用する人々が、安全・安楽で、共に活動できる場所になる働きかけをしていきたいと思っています。安楽という言葉には、『気兼ねなく、ストレスフリーで楽しんでいただけたら』という思いを込めています。また、良好な河川景観を維持できるように、利用される方が思っている課題やニーズを引き出すとともに、共に考えていける場づくりをしたいと考えています。というのも、瀬田川を利用している人々にとって、一部の釣り人の行為が迷惑になっている事があります。琵琶湖漕艇場内での釣りは禁止されていますが、ルアーや釣り針、釣り糸が絡んでいます。路上駐車もあり、沿川で生活している方にとっては通行の妨げになっています。瀬田川には、豊かな自然と観光資源があり、地域の住民や観光客の憩いの場となっている環境を維持していく必要があると考えています。



活動中に集めたゴミ
瀬田川 南郷洗堰付近

「こんなことから始めます」

『利用者の実態とニーズの把握』

瀬田川を利用している人々に積極的に会話し存在を知ってもらい、信頼関係を構築するとともに、質問調査を行い、利用者の瀬田川への想いや課題を把握します。安全利用の観点から釣り人のライフジャケット着用を啓発していきます。

『景観保全やマナー面から見た課題の把握』

活動予定をSNS上に載せて呼びかけを行い、瀬田川を利用する人々と一緒に清掃活動を行うことを試行します。

漂流ゴミや生活ゴミ、レンジャーで出たゴミを収集し、課題を把握します。

利用する人々が気持ちよく過ごせる景観を保持する方法を参加者と一緒に考えます。

『活動内容はSNSにて発信します』
Twitterのフォローを是非お願いします。

https://twitter.com/ranger_fuku

#琵琶湖河川レンジャー 福西



河川レンジャーの福西です。
瀬田川を愛する1人として、
地域住民の方々と共により良い
河川の維持に努めます！

**幼木伐採を
実施しました！**

野洲川では樹木の伐採が進みましたが、その後新たな木が生えてきています。川の中の樹木は水の流れを阻害し、氾濫の危険性を高めます。

そこで、野洲川下流部にて住民グループ「なかす野洲川たんけん隊」と一緒に幼木伐採作業を行いました。1月と2月の休日に2回実施し、19名の方が参加してくださいました。幼木は枝が細く、子どもでもノコギリでカンタンに伐れますが、他方で、根元から枝分かれしていて、枝落とし作業に手間がかかり、作業の割にあまり伐採量が多くなりません。

寒いなかの作業のため、以前、野洲川で伐採した樹木を乾燥させた燃料をつかって、時計型ストーブをつかって暖をとりました。河川での保全活動は子どもたちの豊かな自然体験になるということを実感しています。



野洲川 幸津川地先での活動の様子



幼木を切る子ども達



集めた伐採した幼木



根木山レンジャー

活動拠点 (問い合わせ先)

水のみぐみ館 ウォーターステーション琵琶内 河川レンジャー活動支援室
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-2-2 TEL077-536-3520 FAX077-536-3530
E-mail: r-manager@water-station.jp URL: <http://www.water-station.jp/ranger>

フェイスブックで活動を広報しています！

琵琶湖河川レンジャーFacebookページ
<https://www.facebook.com/BiwakoRanger/>

水辺の安全講座

(開催報告)



水辺での活動は楽しいことがいっぱいありますが、川や湖では、深みにはまって溺れたり、増水中の川で流されたり、事故やケガのケースも耳にします。これから温暖な季節となれば、水辺活動が増えてきています。活動が少ない冬のうちに水辺活動時の安全対策や危険回避のノウハウを学んでおこう、ということと、水辺活動に興味のある方を対象にした『水辺の安全講座』をウオーターステーション琵琶にて開催しました。

内容は、「川に学ぶ体験活動協議会」認定の水辺のリスクマネジメント講座を行い、川ならではのリスクとその回避方法、事故事例から原因と対処すべきことを参加者が自ら考え、意見を述べ合うことをしました。さらに、併せて体験型の水教育プログラムの「プロジェクトWET」を活用して、「地球の水循環の模擬体験」や、「野洲川の流域図を作る」などを行い、体を動かして、楽しみながら学ぶという方法に触れて頂きました。

【参加者からの感想】

- ▼ 危険箇所、事故対応では、具体的に分かりやすく良かった。
- ▼ 水の流れ(地球における循環)を楽しく学べた。
- ▼ 野洲川の流域の形をあらためて見て発見があった。



川の危険回避のノウハウを学ぶ



体験型の水環境学習の実践

「水辺の安全講座」 令和4年2月27日

野洲川を歩こう!

(開催報告)



野洲川についての「魅力」や「課題」を地域のみなさんに知ってもらおうとともに、琵琶湖河川レンジャー制度なども知っていただく取り組みのひとつとして、河川レンジャー活動支援室が企画して『野洲川を歩こう!』を開催しました。主な内容として、河川レンジャーの活躍拠点「河川管理の重要ポイント、河川改修の歴史や自然再生が学べる場所」を選び、①中洲親水公園、②服部水位観測所、③野洲川改修記念公園、④野洲川落差工などの約5km区間(下流2kmからおおよそ7kmの間)を訪ねて歩きました。

改修の歴史を感じながら、野鳥の声や春の風を感じながらのんびり歩きました。

今後も語り合いながら瀬田川や野洲川を歩く機会を作っていきます。

【参加者からの感想】

- ▼ 川幅の大きさと河川スケールの大きさはびっくりした。
- ▼ 新河川の大工事のスケールが体感できた。
- ▼ シーズン中の魚道を見てみたい。
- ▼ 野洲川改修記念公園は行ったことがあったのですが、河川敷を歩いたのも落差工を見たのも初めてでいい勉強になった。



野洲川中洲親水公園での説明



野洲川落差工での説明

「野洲川を歩こう!」 令和4年3月12日

レンジャー勉強会開催

勉強中です



河川レンジャー活動支援室では、河川レンジャーの活動に沿って、情報や活動スキルの充実が図れるよう勉強会を定期的に行っています。今年度は、野洲川の水面や河川敷の利用を軸とした地域との連携を模索されている現状を考慮して、7月には屋外を中心に、2月は屋内で開催しました。7月は、水辺を利用する方が、「安全に」、「楽しく」活動するためのノウハウを学ぶ、Eポートの指導者養成及び水辺レスキューの基本技術をマスターする水辺安全講習会を実施し、2月には、他県の河川利用の活性化の事例を学んだり、野洲川の中洲親水公園を題材として、地域の特性を活かした川づくりの極意を学ぶ勉強会を実施しました。



「野洲川における地域活性化に向けて」(講師: 田中謙次氏) 令和4年2月4日



「Eポート指導者および水辺安全講習会」(講師: 小野正雄氏)

令和3年7月26日



河川レンジャーに興味のある方は、QRコードからアクセスしてみてください

琵琶湖河川レンジャー&レンジャートライアル募集中